

ほっかいどう N I E 通信

Newspaper in Education



発行 北海道 NIE 推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎011-210-5802 FAX011-210-5826

北海道新聞ホームページ「NIE」(<https://nie.hokkaido-np.co.jp/>)でバックナンバーから閲覧できます

8月16日、札幌文化芸術劇場(ヒタル)で行われる全体会会の開会式、基調講演、パネルディスカッションは「無観客」で行い、収録を編集後、オンデマンドでも配信する。

基調講演は札幌ゆかりのノンフィクション作家、梯久美子さんが「歴史と出会う——新聞という回路」をテーマに話す。

パネルディスカッション



コロナ感染予防で変更

は、大会スローガン「新しい学びを創るNIE」家庭、教室、地域をむすぶ」に沿ったパネリストが登壇。来春、私立小学校を開校する元北海道日本ハムファイターズ選手の田中賢介さんをはじめ、家庭や地域活動の中で、NIEに取り組み農家の主婦や漁業者夫妻、札幌藻岩高校図書局員の2年生の男女2人と顧問の教諭も参加する。司会は函館市出身のフリーアナウンサー松本裕子さん。

当初、北海道大学で予定していた分科会(公開授業、実践発表、特別分科会)は、全プログラムを収録し、全体会終了後、順次、大会特設サイト(<https://nie.hokkaido-np.co.jp/zenkoku/ondemand/>)

札幌大会オンライン開催

全体会 ライブ中継を無料配信

8月に開かれる第26回NIE全国大会札幌大会(日本新聞協会主催、北海道NIE推進協議会など主管)は、オンライン開催に決まった。全国から教育関係者が参集する「現地開催」で準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から変更した。基調講演などの全体会はライブ中継を無料公開する。公開授業などの分科会は全25プログラムをオンデマンド配信(有料)する。オンライン開催は昨年の東京大会に続いて2回連続。

でオンデマンド配信するII

6面の一覧表参照II。全体会、分科会とも配信期間は11月30日までを予定。

2002年以来、19年ぶりの札幌大会は当初8月5、6両日を予定。新型コロナウイルス感染拡大による東京五輪の1年延期に伴い、札幌でのマラソン・競歩競技と大会日程が重なり、また、分科会の北大会場がコース付近だったため、日程を変更した。道内外から1600人程度の参加を見込んでいた。



大会参加者を募集

実行委が「書面決議」

第26回NIE全国大会札幌大会実行委員会(菊池安吉委員長)の第3回総会が「書面決議」で行われ、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、8月の全国大会を「現地開催」からオンライン開催とする変更案が承認された。16日の全体会はライブ中継(無料)し、分科会の全25プログラムをオンデマンド配信(有料)する。

議案は7月16日、委員ら57人に送付し、同30日までに過半数の40人から承認を得た。

【全国大会の配信日程】

<ライブ>	<オンデマンド>
(全体会 8月16日)	全体会終了後～11月30日(予定)
開会式 午後2時～	公開授業、実践発表、特別分科会を順次、配信。
基調提案 午後2時35分～	※全体会は8月24日から配信予定(手話通訳あり)。
基調講演 午後2時40分～	
パネルディスカッション 午後4時25分～	

8月31日まで受け付け

NIE全国大会札幌大会実行委員会(日本新聞協会、北海道NIE推進協議会など)は、大会参加者を8月31日まで受け付けている。大会の全体会は申し込み不要でライブ中継を無料公開するが、分科会の全プログラムは申込制のオンデマンド配信(有料)となる。

申し込みはインターネットのみ。大会の特設サイト(<https://nie.hokkaido-np.co.jp/zenkoku/>)で受け付ける。日本新聞協会のホームページからもアクセスできる。参加料金は一般千円。公開授業、実践発表の内容について解説した資料(120頁程度)も配布される。

問い合わせは同実行委事務局(北海道新聞社内) ☎011・210・5818 へ。

◀申し込みはこちらからも

全国大会をPRするチラシ



公開授業8校

N I E 全国大会札幌大会は、公開授業と実践発表、特別分科会を合わせて25のプログラムをオンデマンド配信する。授業や発表の概要を紹介する。実践発表、特別分科会は4、5面に掲載。(記事と写真は北海道新聞社提供)

札幌市立真駒内中 山田 耕平教諭(44)

札幌市立あやめ野中 近野 秀樹教諭(40)

2年生約40人に対する社会科地理の公開授業では「北国の自然を生かした観光業」をテーマに観光業の持続可能な発展に向けて必要なことを学ぶ。

観光業は道内各地で盛んになったが、その一方で止まらない人口の札幌一極集中などの問題が残る。北海道新聞などの記事を活用し解のない問題に向き合い、じっくりと解決力を養う。日本新聞協会のN I Eアドバイザー2年目で、授業で新聞コラムを読む実践などを行ってきた。山田さんは「問いの宝庫の記事を通して主体的・協同的に学ぶ

2年社会

持続可能な観光模索

子どもを育てたい。



1年生の道徳「生命の尊さ」について考えを深めることを授業の目標にする。医師を目指す首都圏などの高校生が大阪大学の病院で心臓移植手術の見学をした。これを取り上げた読売新聞の「高校生 医療現場へ」の記事を使う。

この記事を近野さんが選んだのは高校生目線で取材された命のリレーの記事だからという。中学生にも自己の生き方を決めるきっかけにしてほしいと願う。

近野さんは「コロナ禍の時代だからこそ、子どもたちの心を元気にする道徳科の良さと新聞の魅力が伝われば」と

1年道徳

「命のリレー」考える

抱負を述べる。



北海道札幌南高 志田 淳哉教諭(49)

北海道恵庭北高 桶 雄一教諭(51)

探究は課題を自ら設け、「解」を目指す学び。南高ではテーマ設定が重視され、情報収集し選定する。社会問題や興味関心のある研究などをグループで熟議し、解のない問い、解が一つではない問いに挑戦し続ける忍耐力を身に付ける。3年間で約1000単位を履修。新聞も情報収集ツールの一つだ。3年生の複数のグループが学びの集大成として全国大会で発表する。

志田さんは同僚の長尾良平さん、田畑広樹さんと探究学習の導入を進め、現3年生は田畑さんが1年から指導してきた。志田さんは「大学での

探究

「解」なき問いに挑む

学びにつなげてほしい。



情報科の「インターネットを利用したサービス」を学ぶ2年生約40人が、スマートフォン利用のルールについて考えを深める。使う新聞記事は①自治体の呼びかけで夜、親が預かることになった事例②家庭内ルールが子どもにも徹底されないという調査内容③予想される具体的なトラブルとその対策法―の三つ。

記事から保護者がなぜルールを求めるのか、自分が保護者となったら何を守らせるべきかを生徒に問う。桶さんは「親と自分の考えの違いに気づき、『自律』して客観的な思考で行動する一歩にしてほ

情報

スマホ利用ルールは

しい。



N I E 全国大会札幌大会

札幌市立桑園小 夏井 彩教諭(28)

札幌市立中央小 中里 彰吾教諭(33)

6年社会

地域の歴史多角的に

6年生社会科の歴史編「武士の世の中へ」で児童は源頼朝が鎌倉幕府を開くなど武家政治を学ぶ。それに合わせ鎌倉時代以降のアイヌ民族の歴史、中でも交易の広がりを紹介する。

近年、遺跡発掘などでアイヌ民族が北東アジアを拠点に交易していた歴史が知られてきた。サハリンのアイヌの人々が当時のモンゴルから攻撃を受けた。北海道新聞の年表や地図などを使った記事を活用。児童が多角的な見方や考え方から思考することにつながるという。



触れることで北海道についての誇りや愛着を持つてほしい」。

5年国語

資料生かす文を書く

環境問題を考えるために児童は資料付きの意見文「桑園SDGsポスター」を作る。

ただ、集めた資料から、どんな資料を使うべきかが児童には悩みという。

この学びを深めるのが5年生国語の「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書く」。



や考え方を学ぶことに意欲的だ。

札幌市立真栄中 遠藤 翔太教諭(32)

1年国語

説得力ある文章とは

説得力ある文章を書くにはどう工夫すべきか。1年生国語の授業で生徒約30人に記事を読み解かせ、取材法や書き方を調べてもらう。

記事は三つ。デジタル教科書導入を巡る専門家の意見、将来のメディアは「デジタルか紙か」をテーマに募った読者の意見、情報通信技術(ICT)が進む学校現場の報告だ。生徒は記者や編集者が読者の信頼をつかむためのアイデアを班ごとに論じ発表する。

遠藤さんは4月から、新聞に慣れない生徒に新聞を読む時間を授業で設ける。「結論



から入る文章が多く具体例も分かりやすい」と話す。

札幌市立栄南小 上野 裕子教諭(35)

4年道徳

夢に努力する心育む

4年生道徳の「目標に向かって」で学ぶ元パラリンピアン(走り幅跳び)谷真海(まみ)さんの活躍を通し、夢を大切に努力する子どもたちを育てたいという。

谷さんは大学時代、病気で右足を失い義足で3大会連続パラリンピックに出場。苦しむ時に母の言葉に支えられたという朝日新聞デジタルの記事を児童に示し「さまざまな人の支えがあるからこそ頑張れる」ことを気づいてもらう。

同校は札幌市の「オリパラ研究推進校」。調べ学習で記事のスクラップブックも作る。上野さんは「オリパラに



対しての理解を深めたい」。

N I E 全国大会札幌大会

実践発表

英語学習とN I E

小樽市立菁園中

山崎 史朗教諭(44)



小樽市立桜町中

渡辺 雅代学校司書(61)



小規模校のN I E

富良野市立扇山小

伊藤 静香教諭(43)



新しい時代に必要な「発信する力」を育てることを目指し、総合的な学習のまとめや自由研究を新聞にして各コンクールに応募しました。児童

言語活動とN I E

札幌市立北都中

田中 大地教諭(27)



正確性や文章構成などから新聞記事は文章の模範となります。そこで3年生を対象に、記事を活用した作問などを通して、国語の学びを振り返

特別支援学校におけるN I E

北海道岩見沢高等養護

曳田 和樹教諭(28)



「選挙とメディアとの向き合い方」の授業を行いました。肢体不自由児の生徒たちは移動に制約があり、社会経験が不足しやすいと言われます。

道徳学習とN I E

苫小牧市立日新小

矢島 勲教諭(43)



子どもたちに少しでも温かい話題を伝え、明るい未来を考えてほしいと、12年間、道徳教育で新聞を活用しています。大会では朝学習や授業の

学校図書館とN I E

北海道七飯高

加藤 孝志司書教諭(51)



札幌市立手稲中、稲積中

浅村 麻姫子学校司書(46)



札幌市立北郷小

山田 佳子司書教諭(51)



特別支援学級におけるN I E

札幌市立藤野中

三上 毅朗教諭(32)



普段の買い物が、持続可能な開発目標(SDGs)と関わる「フードロス」につながることを自覚し、分事として考える授業ができました。新聞には身

金融学習とN I E

札幌新陽高

高石 大道教諭(31)



金融資産の多様化が進む一方、高校生が関わる「お金」は限定的です。金融経済への関心を高めるために、北海道新聞社の記事データベースを使

学校図書館は「本のある部屋」や「読書のための場所」としてだけでなく、「情報センター」「学習センター」として、新聞が配置されるよう財政措置がされており、複数の新聞資料を準備し、授業を支援する役割が期待されています。大会では、高校国語での新聞の読み比べや総合的な探究の時間で行った「新聞切り抜き作品」の取り組みを発表します。小中学校での実践も紹介する予定です。(加藤)

公開授業もテーマ決まる

全国大会 全プログラムそろそろ

8月のNIE全国大会札幌大会で紹介する8校の公開授業のテーマ・単元が決まり、実践発表、特別分科会を合わせ全25プログラムの内容が固まったII一覧表を参照II。

公開授業校は、小学3、中学3、高校2。国語、社会、道徳、総合、情報の教科別に、各校の教諭が指導案を練った。授業のテーマは、元パラリンピック選手に学ぶ夢の大切さ、自然を生かした北海道観光の振興策、スマートフォンなどの利用ルールなど時代に即した内容が多い。

15ある実践発表は、教諭や学校司書、計17人で行う。特別支援学校の取り組みやアイヌ文化学習、英語教育など、各校の教諭が指導案を練った。授業のテーマは、元パラリンピック選手に学ぶ夢の大切さ、自然を生かした北海道観光の振興策、スマートフォンなどの利用ルールなど時代に即した内容が多い。

特別分科会は二つ。放送大学の中川一史教授(札幌出身)が、情報通信技術(ICT)を活用したNIEの学びを発表する。日本遺産「炭鉄港」を地域教材にする美唄中の鹿糠昌弘教諭は、産業遺産の大切さを学ぶ授業を公開する。

石狩翔陽高生が手話担当

開会式 局長の長沢さんら3人

NIE全国大会札幌大会の開会式では、北海道石狩翔陽高校ボランティア局の3年生3人が、司会者のアウンスを手話通訳する。3人は「全国規模の大会参加は初めて、ちよつと緊張します」と気を引き締める。

3人は、局長の長沢明穂さん、太田夏南海(ななみ)さん、高関優月さん。ともに高校で手話を本格的に始



めた。開会式の進行を担当する高校生のアナウンスや来賓の紹介などを手話通訳する。司会者の話すスピー

ドは手話より早いため、進行に合わせるのは難しそうだが、分担しながら大役に挑戦する。

高関さんは、中学時代に聴覚障害者から手話を教わり興味を持った。長沢さんは、人の役に立ちたいと思って入局。太田さんは、練習するうちに手話がどんどん楽しくなった。3人も大会への参加を聞き「驚いたけれど、翔陽高校に声がかかってうれしい」と、台本を基に練習を重ね本番に備える。

NIE札幌大会では、記念新聞の制作、パネルディスカッションのパネリスト、大会ロゴのデザインでも高校生が協力する。

NIE札幌大会で手話を担当する石狩翔陽高の(右から)長沢明穂さん、太田夏南海さん、高関優月さん

NIE全国大会札幌大会 授業者・発表者 (敬称略)

区分	学校	教科	テーマ・単元	授業者・発表者	学校名等
公開授業 (8)	小学校	国語	資料を用いた文章の効果を考えて書く	夏井彩	札幌・桑園小
		社会	武士の世の中へ	中里彰吾	札幌・中央小
		道徳	目標に向かって	上野裕子	札幌・栄南小
	中学校	国語	説得力のある文章の工夫	遠藤翔太	札幌・真栄中
		社会	北海道地方～豊かな自然を生かした観光～	山田耕平	札幌・真駒内中
		道徳	尊い命をつなげる	近野秀樹	札幌・あやめ野中
実践発表 (15)	高校	総合	探究活動発表	志田淳哉	札幌南高
		情報	インターネットを利用したサービス	桶雄一	恵庭北高
	中	社会	アイヌ文化学習とNIE	川上知子	新ひだか・三石中
	高	現代社会	アイヌ文化学習とNIE	山崎辰也	北見北斗高
	小	社会	北海道の食に関わる学習とNIE	沢田敦	札幌・山の手南小
	中		北海道の食に関わる学習とNIE	掛水成幸	音更・緑南中
	小		小規模校のNIE	伊藤静香	富良野・扇山小
	中	国語	言語活動とNIE	田中大地	札幌・北都中
		社会	地域学習とNIE	柳沢脩介	釧路・青陵中
			地域学習とNIE	川端裕介	函館・亀田中
	小	道徳	道徳学習とNIE	矢島勲	苫小牧・日新小
	中	英語	英語学習とNIE	山崎史朗	小樽・菁園中
			英語学習とNIE	渡辺雅代	小樽・桜町司書
	高	探究基礎	金融学習とNIE	高石大道	札幌新陽高
	高		特別支援学校におけるNIE	曳田和樹	岩見沢高等養護
	中	社会	特別支援学級におけるNIE	三上毅朗	札幌・藤野中
特別分科会 (2)	他		学校図書館とNIE	浅村麻姫子	札幌・手稲中・稲積中司書
				山田佳子	札幌・北郷小
				加藤孝志	七飯高
	大学		GIGAスクール時代のNIEとICT	中川一史	放送大学(千葉市)
				浦部文也	横浜市立荏子田(えこだ)小
	中	社会	日本の産業基盤を築いた日本遺産「炭鉄港」	鹿糠昌弘	美唄中
				吉岡宏高	炭鉱の記憶推進事業団(本部・岩見沢市)
	他			山口真理絵	道新旭川報道部

「子ども新聞」全国の36社展示

NIE全国大会札幌大会実行委員会は8月12、14日、札幌大会開催に合わせ、日本新聞協会加盟社が発行する子ども向け新聞を、大会主管社の北海道新聞本社(札幌市中央区)1階の多目的スペース「DOBOMAX」で展示する。

小中学生向けの新聞は、子どもに関心の高い話題が多く、漢字にふりがなが振

られていたこともあり新聞に親しむきっかけになる。また、新型コロナウイルス感染拡大による休校などで、家庭学習への関心が高まり発行部数を伸ばす新聞もある。

会場には全国36社の新聞を展示する。各社10部ずつ置き、手にとって自由に見られる。3日間とも午前10時～午後4時まで。無料。展示の様子はオンラインデマンド(<https://nie.hokkaido-np.co.jp/zenkoku/ondemand/>)でも配信する。

8月札幌大会

「北海道のNIE」入念に準備

8月のNIE全国大会札幌大会に向け準備が進む。公開授業や実践を全国に紹介する教諭らは内容を吟味し録画撮りに余念がない。基調講演やパネルディスカッションなどを記念新聞で伝える高校生は、現役記者から記事の書き方などを学んだ。「北海道のNIE」を伝える準備は、大詰めを迎えている。

「実践」収録 50人見つめる

札幌セミナー 小中高3教諭が発表

NIE第5回札幌地区セミナー(北海道NIE推進協議会、北海道NIE研究会共催)が6月12日、北海道新聞本社(札幌市中央区)1階「DOBOX」で開かれた。NIE札幌大会のプレ発表会と位置づけ、道内各地からオンライン参加したベテラン教諭ら約50人が見つめる中、小中学校の教諭が特色ある実践を発表した。内容はオンデマンド配信に向け収録した。札幌市立山の手南小の沢田敦教諭(39)は、5年社会の授業で、食糧基地・北海道の役割についての学びを深める実践を発表。道内のコメや小麦の生産量などを学んだ後、食料自給率について考えた。「新聞記事を使うことで、より広い視点を持つことができる」などと話した。



札幌市立北都中の田中大地教諭(27)は、生徒が新聞記事を使って作問することを通して、3年間の国語学習を振り返る授業を発表。「新聞は表現や文章構成の手本になる」ほか、「他の人のオンデマンド配信に向けた収録も行われた第5回札幌地区セミナー」

新聞作り 現役記者に学ぶ
記念紙担当 高校新聞局員が講習

NIE札幌大会の基調講演やパネルディスカッションなどを取材し、記念新聞を制作する高校新聞局員16人が6月19日、北海道新聞本社で、現役記者から取材

いたりした話などを基に、成果を動画にまとめた授業を紹介した。

川上教諭プレ発表
日高研究会学習会

日高NIE研究会(盛永美樹会長)の総会と学習会が7月10日、新ひだか町立三石中で開かれた。学習会はNIE札幌大会のプレ発表と位置づけ教諭ら約20人が参加し、同校の川上知子教諭が「アイヌ文化学習とNIE」のテーマで実践発表したII写真II。川上教諭は、前任校の日高町立門別中で行った取り組みを発表した。内容は「新

札幌大会に向け模擬取材
も行った講習会

担当者からそれぞれ話を聞いた。同社報道センターの水野富仁記者は、分りやすい記事を書くには「読者の目線を取材執筆し、何を強調して書くのかを考えることが大切」などと、長年の取材経験を基に話した。カメラマンは、事前に両校の生徒が撮った写真を使いながら、写真の一部を切り取って構図を整えるトリミングの方法を紹介。編集担当者からは、紙面レイアウトや少ない文字数で表現する見出しの難しさ、大切さなどを学んだ。制作する新聞は、札幌大会の特設サイト(<https://nie.hokkaido-np.co.jp/zenkoku/ondemand/>)で紹介する。



を訪問して学習した伝統家屋チセや衣装、舞踊などについて整理、分析してまとめ、校内や地域の人に発表したことや、新聞を基に青森市の中学校とオンラインで結んで授業を行ったことなどを紹介した。

本番へ最後の全体会

NIE札幌大会に向け最後となる第3回全体会が7月31日、オンラインで開かれた。公開授業や実践発表を担当する教諭や司会者、助言者ら約40人が参加し、準備状況や大会の成果をまとめる「大会集録」作成について、分科会ごとに打ち合わせた。大会の主管団体、北海道NIE推進協議会の菊池安吉会長はいささつで、「オンライン開催になっても、これまで進めてきた取り組みは全く色あせることはない」と、大会成功への自信をのぞかせた。分科会ごとの打ち合わせは、全19分科会のうち12分科会で行われた。授業収録を終えた教諭は、新聞を使う授業を通して「記事が読むことと書くことをつなぐことに気付いた」と述べた。今後収録を予定する教諭は、既に4回プレ授業を行い周到に準備していることを報告した。

地区セミナー6回予定

本年度 推進協議会が総会

北海道NIE推進協議会(菊池安吉会長)の総会が5月22日、北海道新聞本社(札幌市中央区)を拠点に、オンラインで開かれたⅡ写真Ⅱ。議事は事前に「書面決議」で行い、8月に札幌で開催されるNIE全国大会開催に注力するほか、地区セミナー開催にも精力的に取り組み活動計画案などが承認されたことを報告した。

総会にはNIEアドバイザや実践指定校の代表者ら約30人が参加。菊池会長は「全国大会は北海道の優れた実践を発信する好機」とあいさつし、NIEの1層の広がりを期待した。2021年度活動計画案は、新型コロナウイルス感染症拡大で昨年度2回にとど

まった地区セミナーを、全国大会後を中心に計6回行うことなどを盛り込んだ。21年度予算案とともに承認された。

21年度の実践指定校は、日本新聞協会認定校の36校(新規校14校)と推進協議会の独自認定校の新規2校、合わせて38校になる予定であることが報告された。新規実践指定校を代表して、町立平取中の金丸剛輝教頭が「若い教諭の授業スキル向上も目指したい」と述べた。

20年度の実践報告表彰は、岩見沢市立中央小(代表・富樫いずみ教諭)、富良野市立樹海中(同・杉本仁教頭)、函館西高(同・小牧陽二郎教諭)の3校が選ばれた。3校の代表は実践をオンラインで発表した。

現在、14人のアドバイザは全員継続する。昨年度の総会は「書面決議」のみで、オンライン開催はなかった。



◇ NIE全国大会札幌大会は総会後、新型コロナウイルス感染予防の観点からオンライン開催が決まり、協議会会員に報告された。

実践報告表彰3校 特色ある取り組み

北海道NIE推進協議会の2020年度実践報告表彰を受賞した3校は、新型コロナウイルス感染予防に苦慮しながらも、全校的な取り組みや、新聞に関心をを持たせるための工夫を凝らした授業を積極的に行った。各校の実践と代表者の声を紹介する。

岩見沢・中央小 富樫 いずみ 教諭



児童数が350人近い規模の学校で、新聞を活用したカリキュラムを作成して

富良野・樹海中 杉本 仁 教頭



小規模校という特徴を生かし、NIEを学校経営計画に位置づける。教科を限

函館西高 小牧 陽二郎 教諭



5年間の実践が評価され、NIEは国語科教諭として、小論文対策になれば

小規模校の特徴生かす

の10分間を「NIEタイム」として、新聞を読み、発表させる。当初はスポーツなどなじみやすい記事が多かったが、「ミャンマー問題」の効果を実感する。使った記事と発表原稿は掲示し、学びの蓄積を確認できるように工夫している。

定せず、生徒の「表現力・読解力」向上を目指して学校全体で実践を進める。毎週月曜日の朝の会の前

など徐々に社会的な記事にも関心を示すようになり、杉本さんは「生徒の成長する姿が見られる」とNIE

「2分スピーチ」5年間

と始め、授業冒頭の「2分間スピーチ」を継続している。興味のある新聞記事を選ぶ、内容や意見を発表する道具、新聞こそ他者と出会うツール」と言う。継続

「特別支援」含め全校で

含め活動はさまざま。中でも、全児童が作った新聞の「校内展示会」は初めての試み。コロナ禍で他学年との交流が極端に少な

学年を超えた活動ができた」と喜ぶ。校外の人にも審査してもらい、児童の学習意欲向上にもつなげた。

【日本新聞協会認定】

<小学校>

室蘭市立八丁平小学校
旭川市立末広北小学校
登別市立富岸小学校
夕張市立ゆうばり小学校
岩見沢市立中央小学校
札幌市立手稲宮丘小学校
札幌市立伏見小学校
★芦別市立上芦別小学校
★別海町立中西別小学校
★札幌市立桑園小学校
★札幌市立栄南小学校

<中学校>

札幌市立藤野中学校
札幌市立もみじ台中学校
音更町立緑南中学校
小樽市立北陵中学校
むかわ町立穂別中学校
むかわ町立鶴川中学校
札幌市立新川中学校
富良野市立樹海中学校
★美瑛市立美瑛中学校
★札幌市立北辰中学校
★札幌市立あやめ野中学校
★札幌市立真駒内中学校
★平取町立平取中学校
★浦幌町立上浦幌中学校
★函館市立銭亀沢中学校

<高校>

北海道函館西高校
札幌新陽高校
北海道札幌手稲高校
星槎国際高校帯広学習センター
北海道岩見沢高等養護学校
北海道科学大学高校
北海道野幌高校
★北海道釧路東高校
★星槎国際高校旭川
★北海道富良野高校

【北海道NIE推進協議会独自認定】

★札幌みなみの杜高等支援学校
★旭川聾学校

道内実践指定校 本年度38校

「特別支援」3校
NIEに広がり

か、札幌市立藤野中学では特別支援学級で授業に新聞を活用している。両校の実践は、8月のNIE札幌大会で紹介される。

本年度NIE実践指定校は、日本新聞協会が7月9日に全国541校（前年度比1校増）の認定を了承。都道府県別で、北海道は東京都の40校に次ぐ学校数になった。道内の認定校は前年度より1校多く、新規校は同4校増え14校だった。

一方、推進協の独自認定校は前年度より1校増えた。

実践指定校は一定期間、新聞協会加盟各社の新聞が無償で提供され授業で活用する。

2021年度の道内実践指定校が決まった。日本新聞協会認定36校に、北海道NIE推進協議会の独自認定2校を加えた38校（一覧表参照Ⅱ）。独自認定校はいずれも新規の特別支援学校で、新聞協会認定の継続校と合わせて特別支援学校は3校となり、道内では支援学校への広がりをみせている。

独自認定校は、市立札幌みなみの杜高等支援学校と北海道旭川聾学校。道内では協会認定校として、北海道岩見沢高等養護学校が前年度から実践に取り組んでいるほ

多彩な実践紹介
20年度版報告書

北海道NIE推進協議会（菊池安吉会長）は、実践指定校の1年間の取り組みをまとめた2020年度実践報告書を発行したⅡ写真Ⅱ。

20年度の指定校は小中高と短大の計36校（日本新聞協会認定35校、推進協議会独自認定1校）。実践報告表彰に選ばれた、岩見沢市立中央小、富良野市立樹海中、



旭大生4人の発表も

大学のNIEを考える会

2年ぶり

第5回「大学のNIEを考える会」（北海道NIE推進協議会主催）が初めてオンラインで開かれたⅡ写真Ⅱ。道内の9大学・短大から教員が参加。旭川大からは学生4人が、授業づく

函館西高の3校をはじめ、新聞に親しむ環境作りを目指した新規校や、6紙の1面記事の読み比べを行った中学校など、各校の実情に添った幅広い内容になっている。

全国大会実行委が



8月の第26回NIE全国大会札幌大会の実行委員会（菊池安吉委員長）の第2回総会が「書面決議」で行われた。新型コロナウイルス感染症対策として、大会の参加定員を当初目標の半数以下となる900人程度に減員するなどの変更案が承



りについての取り組みを共同で発表した。

新型コロナウイルス感染症拡大のため3月8日、2年ぶりに開催。北海道新聞本社（札幌市中央区）と大学の研究室などをオンラインで結び、約20人が参加した。

旭大生は「新聞を活用した地域学習」について発表。新聞活用の利点として、①地域のことをより深く知る

ことができる②教科書に載っていないことを知ることができ③「などとし、新聞は授業づくりで活用できるとまとめた。一方で、学生にとつて新聞は身近な物ではないとも述べ、新聞を多面的、多角的に活用できていないことを指摘した。

教員からは、新聞の一覧性や意図しない情報に出会う偶然性の有用性や、授業での考察の手がかりが得られることなどが紹介された。新聞を購読する学生が少ないとの発言もあった。

2020年度は、多くの大学で新型コロナウイルス感染予防としてオンライン講義が増えた。当初は授業準備の苦労や、学生には戸惑いもあったようだが、資料がオンライン配信できることや動画を活用できることなどの利点もあり、ウェブ授業の可能性についての意見も交わされた。

変更はほかに、大会2日目の公開授業と実践発表のうち計10コマ程度のオンデマンド配信を予定していること、「全国NIEアドバイザー会議」の中止など。

議案は5月7日、委員ら57人に送付し、同19日まで過半数の43人から承認を得た。

◇

NIE全国大会札幌大会は総会後、新型コロナウイルス感染予防の観点からオンライン開催が決まり、実行委メンバーにも報告された。

ルビの効用



総ルビを採用している各紙の子ども向け新聞

漢字に慣れ NIE で大活躍

共同通信社札幌支社長 高橋 茂

漫画「鬼滅の刃」が爆発的なヒットを記録した。劇場版アニメは歴代の興行収入記録を塗り替え続けている。登場人物は竈門炭治郎、禰豆子、煉獄杏寿郎。抵抗なく読めるのは、日本の少年・少女漫画に根付いた振り仮名文化のおかげである。

欧米のアルファベットは表音文字だから、つづりを見ればだいたい読める。一方、日本語は表意文字の漢字と表音文字の平仮名、片仮名が絡み合う。いきおい、読み方の難しい漢字には仮

名を振ることになる。国後の島爺爺岳、韓国の文在寅大統領といった具合だ。この小さな仮名を、印刷業界用語で「ルビ」と呼ぶ。明治時代、英国では活字の大きさに「ダイヤモンド」「パール」などと宝石の名前を付けていたそう。日本でも振り仮名用に使っていた活字のサイズが「ルビ」に近かったのだ。いつしか振り仮名そのものをルビと呼ぶようになったらしい。一部の漢字だけにばらばら振るのを「パラルビ」、すべての漢字に振る

のを「総ルビ」という。「路傍の石」などで知られる作家の山本有三は、ルビを毛嫌いした。1938(昭和13)年に出版した本の後書きで「もじを二列に並べて書かなければ、いっばんに通用しないというような国語が、ほかの国にあるでしようか」「近ごろ私はルビを見ると、黒い虫の行列のような気がしてたまにしません」と敵意をむき出しにした。

山本が貴族院の勲選議員となつた1946(昭和21)年、内閣は「当用漢字表」を告示し、振り仮名は原則として使わないと明記した。政府の漢字施策に強い影響力を持っていた山本は、いずれ漢字を全廃したいと考えていたようだが、思惑は完全に外れた。いまもNIEの分野ではルビが大活躍している。

「週刊まなぶん」「北海道小学生新聞」といった子ども新聞は、総ルビを採用している。児童にはなじみの薄い時事問題でもすらすら読めるし、漢字への抵抗感が薄らぐ効果もある。反対に、一般紙を読むとルビを探すのに苦労する。現在の常用漢字表は、振り仮名をつけて表外字を使うことを制約していないのだが、実際は難読の人名・固有名詞や絨毛、菩提といった言い換えが難しい言葉などに限定している。新型コロナウイルスの感染拡大についても、多くの報道機関は「蔓延」を「まん延」と表記している。常用漢字表にない表外字だけを平仮名に置き換える「交ぜ書き」である。法律や政令、省令の表記は全てまん延だ。内閣法制局が定めた「法令における漢字使用等について」というルールに従うと、蔓延は使えないのだが、あくまで法の世界の話。まん延では意味が視覚から入ってこないし、間延びした印象を与えるので、違和感を覚える一般読者も多いだろう。ルビを活用すれば、使える漢字を増やす余地があると思う。活字離れ対策としても有効ではないか。翻って、人々は新型コロナウイルスに歓声を奪われ、孤立を強いられ、忘れ去られる日が続けば、それが一番

リレーエッセー
多紙彩々

「いっしょに読もう」コンクール作品募集
日本新聞協会は、第12回「いっしょに読もう! 新聞コンクール」の作品を募集している。学校単位でも個人でも応募できる。小中高生と高専生が対象で、昨年9月9日〜今年9月7日の新聞記事について家族や友人らと話し合う。応募用紙に記事を貼り付け、①記事を選んだ理由と感想②家族などの意見③話し合った後の自分の意見や提案を記入する。応募用紙はNIEウェブ

サイト(https://nie.jp/)からダウンロードできる。〒060-8711(住所不要)北海道新聞社NIE推進センター内の北海道NIE推進協議会事務局に郵送する。9月8日必着。問い合わせは同事務局 ☎011-210-5802 へ。

◇おことわり「NIE実践奮闘記」は休みました。

編集後記

○…当推進協議会が、NIE全国大会札幌大会の主管団体となって約2年。入念に準備を進めてきた大会は、前回の東京大会と同様にオンライン開催となった。夏の北海道行きを楽しみにしていた、全国の教育関係者の方々は、がっかりしたかもしれない。

○…でも、今号で紹介した公開授業、実践発表など大会内容を見てほしい。公開授業には、北海道の観光をテーマにした授業がある。実践発表も「アイヌ文化」「北海道の食」「日本遺産・炭鉄港」など北海道の特色を生かした内容がそろそろ。発表者は広大な北海道の各地で活躍する教諭ら。

豊かな地域色も感じられるだろう。

○…「北海道らしさ」だけではない。広がりが見られる学校図書館との連携や特別支援学校(級)での取り組み。GIGAスクール、情報通信技術(ICT)の活用はNIEのこれからを見据える。

○…オンデマンド配信の公開授業や実践発表をいかに分かりやすく、魅力的にするか。準備作業は大詰めを迎えている。札幌大会は全25プログラム。「現地開催」では、時間的に参加できる授業や発表に限界があるが、オンデマンドなら、じっくり、好きなだけ視聴できる。この夏、爽やかな北の大地を思いながら「北海道のNIE」を満喫していただければ。(坂)